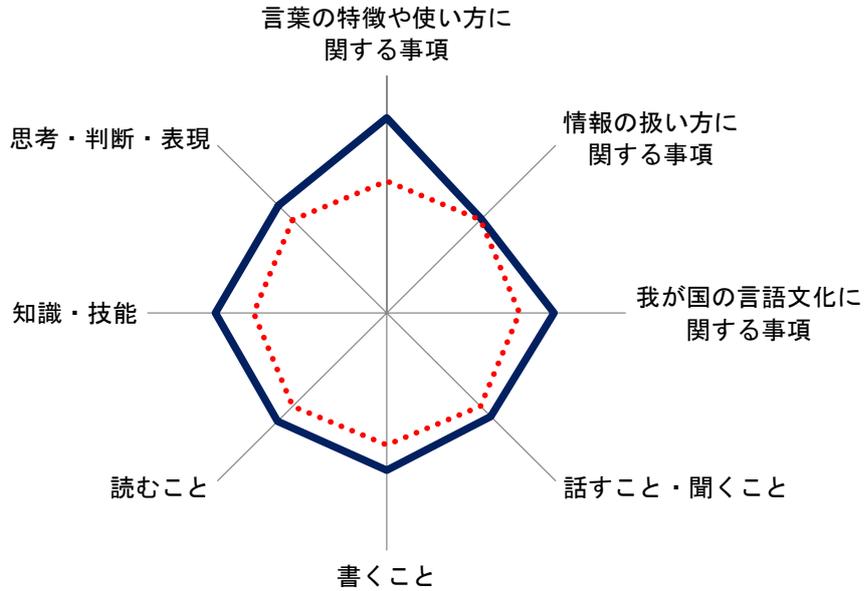


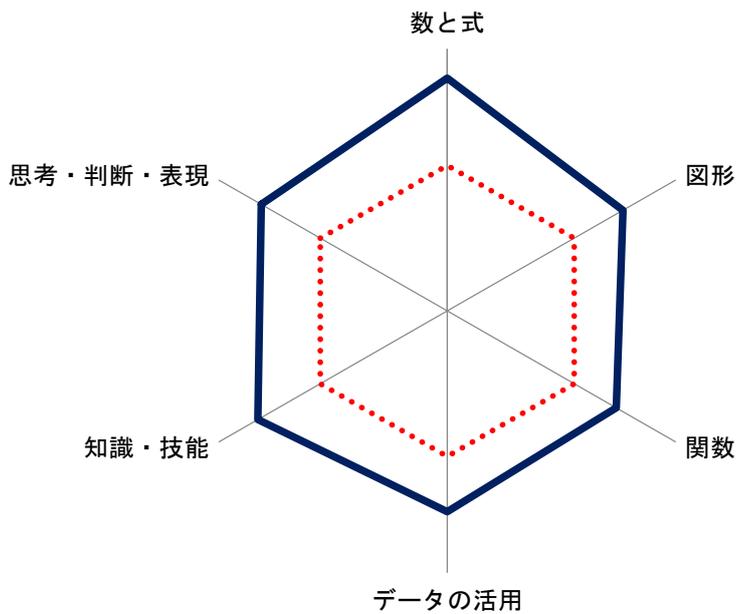
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

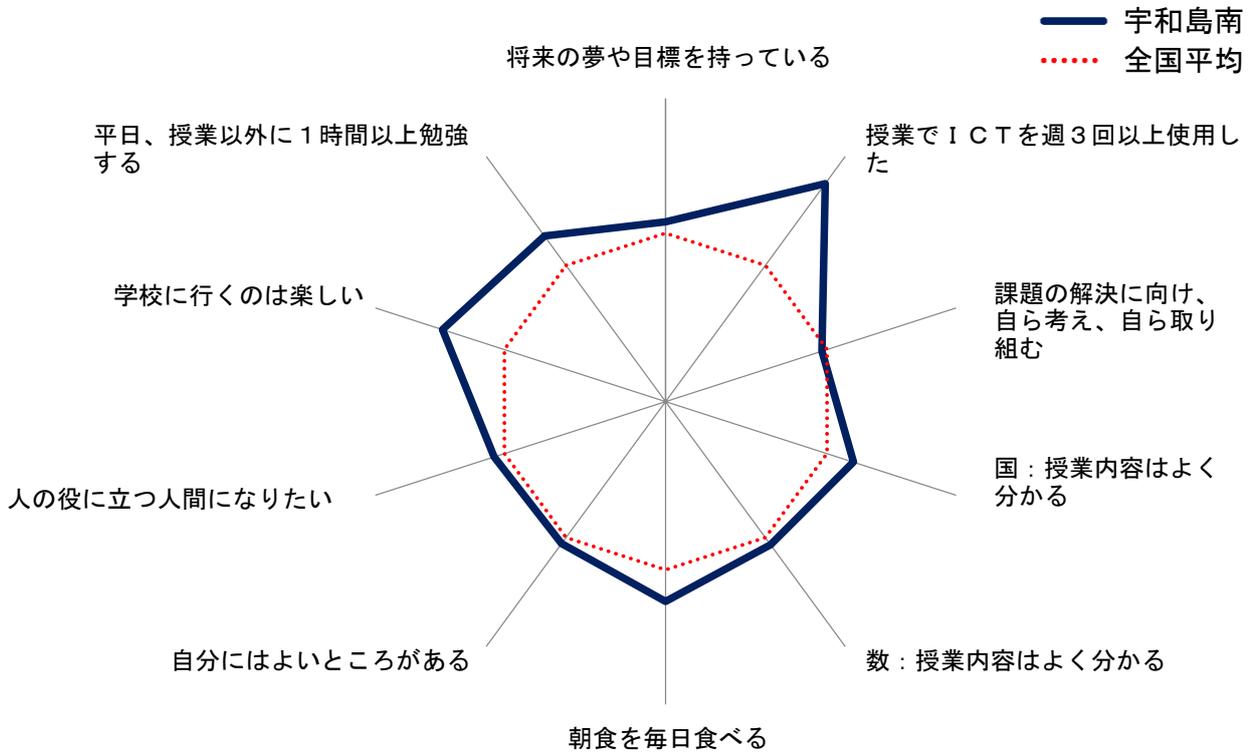
— 宇和島南  
..... 全国平均



【数学】



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

【国語】正答率は全領域・観点で全国平均を上回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は12ポイント、「わが国の言語文化に関する事項」「知識・理解」は7ポイント程度と大きく上回った。「国語の授業の内容はよく分かるか」は肯定的な回答が4ポイント上回った。今後も生徒の実態に合わせて、全ての生徒が分かる授業を目指していきたい。

【数学】正答率は全領域・観点で全国平均を8ポイント以上上回り、昨年度から大きく改善された。特に「数と式」が19ポイント程度、「知識・技能」「思考・判断・表現」が12ポイント程度と大きく上回った。しかし、「数学の授業の内容はよく分かるか」は肯定的な回答が2ポイント程度しか上回っていない。生徒が目標を高く設定しているかもしれないが、習熟度別授業を通して「分かる」が実感できる取組を進めていきたい。

【生徒質問紙】それぞれ肯定的な回答が「授業でICTを週3回以上使用した」は26ポイント、「学校に行くのは楽しい」は10ポイント程度、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「朝食を毎日食べる」は5ポイント程度全国平均を上回った。ICTは英語で電子教科書を使用していることが大きく関係したと考えられる。「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」のみ若干ながら全国平均を下回った。家庭学習を含むあらゆる場面で「自ら考え、自ら取り組む」姿勢を身に付けさせられるよう注力していきたい。